



学校教育目標

共に学び、共に生きる喜びをもち夢と志に向かい未来を拓く児童の育成



目指す姿

目指す学校像

- 安全・安心な学校【安全安心】
- 保護者・地域から信頼される学校【信頼】
- 家庭や地域とともに作る学校【協働】

目指す児童像

- 明るく、思いやりのある子ども【あたたかく】
- よく考え、表現する子【かしこく】
- 元気に遊び、心と体をきたえる子ども【たくましく】

目指す教師像

- 子どもや保護者・地域から信頼される教職員【信頼】
- 子どもに寄り添い、子どもの頑張り・良さに共感する教職員【協働共感】
- 指導力向上を目指し、研修・研さんに務める教職員【自主研さん】



シーモ



いぼのん

～かかわろう・きたえよう・楽しく学ぼう～



学校経営方針

○時代の変化や社会の変化の中で、生涯学習を視点に「生きる力（豊かな心、健やかな体、確かな学力）」の育成を目指す。
○令和8年度の松山小学校との統合に向けて、単式指導の充実を図り、児童が達成感や充実感を味わえるような教育活動を進めていく。

- ①児童が楽しく ②教師が楽しく ③地域が楽しく

特に以下のことを重点項目とする。（6つのアクションプラン）

- (1) 未来を拓く基礎学力の向上の定着と学習指導の充実（知）
- (2) 豊かな人間性や社会性の育成（徳）
- (3) 健やかな心と体の育成（体）
- (4) 防災・安全教育の充実（知・徳・体）
- (5) 関わりを大切にしたい豊かな体験活動の充実（知・徳）
- (6) 学校・家庭・地域が協働した子どもの育成（知・徳・体）



6つの重点項目アクションプラン

学校教育目標達成のための具体策

学習指導の充実

- 「下伊場野小学校スタンダード」の実践と単式指導の継続
- 「分かった→覚えた→活用できた」とつながる授業
- ICTを活用した学習活動等の推進
- 表現する活動の充実→本番力をつける
- 朝の活動を生かした基礎学力の向上（国・算等）
- 「子供の学びを支援する5つの提言～自立した学習者の育成を目指して」の実施
- 家庭と連携した家庭学習の充実

豊かな人間性や社会性

- 礼儀作法の定着（挨拶、返事、言葉遣い、態度等→いつでも、どこでも、誰とでも、何度でも）
- 人間力の育成（人に愛され、応援され、役に立ち、必要とされる人に）
- 夢や目標をもたせ、それらを常に意識した活動の推進
- 多くの関わりの中から互い認め合い、励まし合う関係の確立（様々な体験活動）
- 伝統文化の体験活動の推進（和太鼓、伊場野音頭）

健やかな心と体

- 「はやね・はやおき・あさごはん」の徹底（保護者と連携）
- おおさき学校メグリンピックやWebなわ跳び等を活用しての体力向上
- 外遊びの奨励（学年の枠を超えた遊び等）
- 子どもたちの心のケアの充実（スクールカウンセラーの活用）
- 関係機関主催の体験教室への参加
- 食に関する指導の充実（大崎東学校給食センターと連携）
- メディアコントロールの推進

防災・安全教育の充実

- 「自分の命は自分で守る」力の育成（月1回、朝の活動で「みやぎ防災副読本等」の活用）
- 各種訓練の計画・実施・改善及び保護者との連携による引き渡し訓練の実施
- 学校安全マニュアルの定期的な見直しと改善
- 地域・関係機関と連携した学校安全計画の整備と改善
- 新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症対策の継続

協働による子どもの育成

- 松山小学校との交流学习推進
- 地域学校協働本部の積極的な活用（外部講師依頼等）
- 体験活動をととして、非認知能力を高める（主体的に、最後まで頑張り、自信をもって）
- 総合的な学習の時間の充実（授業・活動内容等の改善）
- 「下伊場野水辺の楽校」の充実
- 関係機関、企業、団体等との連携（体験活動への応募）
- 志教育の推進
- チャレンジdayを活用した各種行事への積極的な参加

協働・開かれた学校

- 家族ふれあい読書（家読）の推進（月1回、家族で本を読む時間の設定）（年数回実施、改善）
- 情報モラル教育の推進（インターネットの適切な利用等）
- 地域行事等への積極的な参加
- 学校だより、HP・ブログでの情報発信
- 家庭・地域、関係機関との連携
- 希望者への自由参観、教育相談の実施

